

令和2年度 第3回 日進市立図書館協議会議事録

日 時	令和3年3月12日(金) 午後1時30分から午後2時25分まで
場 所	図書館 2階 大会議室
委員出席者 (順不同)	(委員長) 大津 正仁 (副委員長) 足立 祐輔 (委員) 中村 美和、佐合 廣利、由岐 智美、近藤 洋子、酒井 早苗、 丹羽 むつみ、萩野 章代、松坂 旬子
委員欠席者	なし
事 務 局	(学習教育部長) 市川 秋広 (図書館長) 宇佐美 香津美 (館長補佐兼管理係長) 加藤 敦 (図書企画係長) 岡田 竜二 (図書企画係主任) 小栗 直晃
傍聴の可否	可
傍聴の有無	無
次 第	1 あいさつ 2 議題 (1) 令和2年度事業進捗状況について (2) 令和3年度事業計画(案)について 3 その他
資 料	(資料1) 令和2年度 図書館事業進捗状況報告 (資料2) 令和3年度 図書館事業計画(案)
発 言 者	内 容
事務局	開 会 (午後1時30分) ただいまから、令和2年度第3回図書館協議会を開催いたします。 開会に先立ちまして、市川学習教育部長よりごあいさつ申し上げます。
部 長	(あいさつ)
事務局	議題に入ります前に、この協議会は、日進市立図書館規則第19条第2項により過半数の出席がなければ開くことができないと規定されておりますが、本日は全員の出席ですので、会議は成立することを確認しております。 また、本日の傍聴希望者はありません。 日進市立図書館規則第18条第2項の規定に基づき、議事進行を委員長にお願いいたします。
委員長	委員長を務めます大津です。本日は今年度最後の会議となり、また、現在のメンバーでの最後の会議となりますので、よろしく申し上げます。

事務局	<p>それでは、議題（１）について、事務局から説明をお願いします。</p>
委員長	<p>（資料１・令和２年度 図書館事業進捗状況報告の説明） ありがとうございます。 ただいまの説明について、ご意見等ございませんか。</p>
委員	<p>よろしいでしょうか。国の交付金を活用して、オーディオブックと図書の除菌機を導入されたということですが、それぞれいつから導入されたのか、また、それぞれの利用状況はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>オーディオブックは昨年の１２月２４日に公開しました。図書の除菌機につきましては今年の２月５日から利用を開始しております。オーディオブックの利用件数は１２月が２４３件、１月が２８４件、２月が８０件になっております。図書除菌機の利用状況は、２月末までのおよそ１か月で１，５９５件でした。 今後は、小中学校へオーディオブックの啓発チラシを配布し、利用をしていただくよう働きかけをするとともに、全市民に向けて、広報５月号のワイドページにも掲載しＰＲと利用促進に努めてまいります。</p>
委員長	<p>他にご意見等ございませんか。 それでは、私から一つよろしいでしょうか。 資料１の３．配本事業のレファレンスの受付件数ですが、閉館している期間や制限付の開館期間もございしますが、予約処理件数自体は前年度比較で５，０００件ほど減っているのですが、レファレンス件数は１，０００件の減少というのは図書館としてはどのように受け取られているのかをお聞かせください。</p>
事務局	<p>レファレンスは主に一階の一般カウンターと児童カウンターで受け付けております。資料の予約やリクエストに関しては一般カウンターで主に受け付けていますが、今はインターネット環境を用いて利用者自身のスマートフォンやパソコンから予約ができるようになっています。臨時休館中にレファレンスの受け付けを止めていたり、図書館を開館してからも閲覧席数の制限などをしていたこともあり、利用者の方々がレファレンスカウンターに足を運んでいただくこと自体少なくなっていたと感じました。それでもレファレンスサービスを利用される方もやはりおみえでしたので、思ったよりは減少は少ないと感じました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。私は資料の数のみを見ての感想ですので、実際の現場の方の感想とずれるかもしれませんが、図書館機能である、ものごとを知りたいということや自分で調べたりする時に、このような状況下でも利用される方は図書館にすごく期待しているのだなと感じました。 あと、もう一点ですが、職員研修で１月２７日に行われている「サピエZoom研修会」とはどのような内容なのかを教えてください。</p>
事務局	<p>サピエとは、主に視覚障害をお持ちの方向けの、例えば録音図書やデジ</p>

	<p>ーデータのポータルサイトというイメージです。サピエを通じて、デイジーなどを直接借りるための申し込みや、ストリーミングで聞いたりすることができ、当館も利用できるよう登録しています。サピエの事務局は大阪の方にはありますが、昨今のコロナ禍でこの研修会がZ o o mで開催されました。当館の職員も2名受講はしたのですが、結論から申し上げますと、内容はシステムに関する研修に特化していました。利用者の方向けの説明はあったのですが、ほとんどはエンジニア向けの説明にとどまっていたので、職員として知りたかった内容が少ないものでした。</p>
委員長	<p>わかりました。様々な方に本に親しんでもらうというのが根底にあって、オーディオブックもそうですけど、色々な可能性が広がるのを非常に感じるのです。今説明していただいて、そんな分野があるのだと勉強になりました。とてもよい取り組みだなと感じました。</p> <p>他にご意見等ございますか。</p>
委員	<p>配本事業ですが、特にこのコロナ禍において実績を見ると増えているということはそれなりに意義があると思います。令和2年度の計画で日東保育園と米野木台西保育園にも回収拠点にするとなっていました。なぜ実現できなかったのかお聞かせください。</p>
事務局	<p>計画通り進められる予定でしたが、先方の保育園のご都合で、このコロナ禍の中で事業をスタートするのは不適切では、とお話がありましたので、令和3年度に向けて準備をするという形でとどまっております。</p>
委員	<p>相手方からそういうお話があったということですね。わかりました。</p>
委員長	<p>他にご意見等ございますか。</p>
委員	<p>レファレンス事業の件数ですが、これは利用者が紙に調べたいことを書いて申込まれた件数だけでしょうか。開館していた200日くらいと考えると、1日あたり4、5件ということになります。私が図書館に関する授業の中で、よく言うのはレファレンスで大事なのはクイックレファレンスです。調べて答えるのではなくて司書の知識の引き出しの中から即答する事です。皆様ご存知と思いますが、レファレンスとは必ずしも答えを示すことではなく、水先案内をするということが大事だと、私は司書になる人へ伝えていきます。だから、クイックレファレンスの件数もこの実績に入れてもよいと思いますし、内容なども紙や、データとして残しておくともよいと思います。実際はどのようにされているのかを教えてください。</p>
事務局	<p>レファレンス件数ですが、クイックレファレンスと紙等記録に残しているものの件数を足した合計数になります。</p>
委員	<p>今でこそ貸出冊数が100万を切っていますが、日進市立図書館の利用率は全国的に高いです。そのことから考えると恐らく毎日のクイックレファレン</p>

	<p>スはこの報告の数倍あるのではと思われます。入力する手間があると思いますが、それが業務にマイナス面をもたらすのであればやるべきではないと思います。ただ、残す情報を絞って、例えば百科事典の事なのか、法律の事なのか分野だけでも記録してカウントすれば実績にもなるし、対応する人たちの勉強にもなると思いますので質問しました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>経験上ですが、クイックレファレンスの数をとるのはすごく難しいですよ ね。</p>
委員長	<p>これはエビデンスを残していくということで、実績数も大切ですが、利用者の声や、問合せの方々の感謝の数ですよ。リクエストやレファレンスに対応したことにより、また次回への利用につなげる等、結局大切なのは関わり合いですからね。</p>
委員	<p>国立国会図書館のホームページにレファレンス協同データベースがありますよね。おそらく日進市も投稿されていると思います。私の大学もたくさん投稿していますから、何度も表彰されています。東海地区の大学でレファレンス協同データベースよりも先にやったことがあります。東海三県の大学図書館で、レファレンスの回答集を作りました。また、文学系の大学図書館に医学系のレファレンスがあってもすぐ答えられないので、大学図書館同士で協力してレファレンスのデータベースの基礎を作りました。その後国立国会図書館のレファレンスデータベースができ、今はそこに数十万件入っていると思います。日進市立図書館もクイックレファレンス等少しでも記録を残しておくとも今後活用できると思います。</p>
委員	<p>レファレンス回答者について質問したいのですが、日進市のカウンターは委託ですよ。</p>
事務局	<p>貸出、返却、総合窓口は委託をしておりますが、レファレンスカウンターは市の職員です。</p>
委員	<p>委託を受けている方たちはレファレンスカウンターに入りますか。</p>
事務局	<p>館内の1階に一般用と児童用のレファレンスカウンターがあり、一部の時間ですが委託先のスタッフも担当しています。</p>
委員長	<p>数字に見えないところですが、日進市立図書館の機能が充実しているというのはお話からわかってきました。 他にご意見ございますか。</p>
委員	<p>オーディオブックについてですが、令和2年度の計画の中には多様な図書館サービスの充実ということで、主に読書バリアフリー法が施行されて、本を読むことが困難を伴う様々な方へのサービスを検討するためにオーディオブックの調査研究をすすめるという計画でした。今日の今年度の報告で</p>

	<p>は、このコロナ禍で本を読むことが困難な方と来館が困難な方が増えてしまい、地方創生交付臨時金があつて実現したと受け取れるのですが、色々調べてみたら、電子出版流通協議会のホームページに日進市立図書館のオーディオブック事業を見つけました。当初の計画の調査研究からどういう経緯があつて実現に至ったのかを伺いたいです。</p>
委員長	<p>最初は「計画」となっていたのが、結果として大きく前進していますが、急遽実施に至った経緯をお聞きしたいということですね。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、当初の計画では予算措置もありませんでしたので、近隣や全国の状況、メリットデメリット等調査研究していく予定ではありましたがコロナ禍において、この臨時対策交付金で図書館パワーアップ事業という枠が設けられており、オーディオブックサービスが対象事業となることがわかりました。読書に何らかの困難がある方、ご来館が難しい方等、多様な利用者層へのサービスということで、補助金を獲得し整備維持していくという方針に決定しました。当初ですと、令和3年以降に予算化をし、導入というイメージをしていましたが、令和2年度の短い間に何年か分の業務を進めた形です。</p>
委員	<p>きっかけはコロナということですが、他市町の図書館は電子図書館という方向へ向かっていると思うのですが、日進市も同じ考えを持っていられますか。</p>
事務局	<p>電子図書館は愛知県図書館が導入しました。素晴らしいとは思いますが桁違いの予算を必要としますので、当面日進市では全体的な予算が厳しいこともあり、導入は難しいと考えております。そこで、現状でできるもの、可能性のあるものとしてこのオーディオブックサービスに焦点を絞り導入しました。電子図書は、検討をするという段階ではなく、費用の面で難しいというのが先にありました。愛知県図書館で導入されましたので、県民であればどなたでもご利用できるのでそちらを利用しましょうということを推奨しつつ、当館のオーディオブックも推奨し、愛知県のサービスと併用して利用されればと思います。4月以降には愛知県の電子図書と当館のオーディオブックを両面印刷したチラシを小中学校に配布し、PRしていこうと考えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 では、議題（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料2・令和3年度 事業計画の説明）</p>
委員	<p>1（1）重点事項ですが、現在学校司書の方たちは市立図書館の蔵書はインターネットから検索することができますよね。この項目のネットワークの整備とは生徒が利用できるネットワークの整備までを考えられているのか、市の図書館と学校の図書館の間でのネットワークなのかを今わかる範囲で</p>

	<p>教えていただけますか。</p>
事務局	<p>学校に導入されている図書館システムの更新予定が約3年後、市の図書館のシステムは約4年後に更新予定となります。学校間及び学校と市立図書館をつなぐシステムを更新時に新しく導入していけたらと思っております。まずは次年度につきましては、システム導入するために関係者の方々と協議を進めたいと思います。</p>
委員	<p>システムを構築するのに予算はとってあるのですか。</p>
事務局	<p>まだそれ以前の段階で、これから段階を踏んで予算要求する形になります。</p>
委員	<p>各学校図書館のシステムに書誌データ等あるはずですので、それらとシステム構築のための予算さえあればすぐにできると思います。</p>
事務局	<p>さきほどの説明に少し付け加えさせていただきますと、学校への支援として学校への配本をたくさんしておりますが、システムの連携をしていませんので、インターネットを使う一般の利用者と同じくらいの検索しかできません。また、学校間、市内の小中学校図書館同士のシステム連携もとれていないこともあります。まずはシステム以外の所から連携を取れるようにしていこうと思っております。</p>
委員長	<p>学校教育の分野だけでなく市全体の基本計画の見直しの時期にちょうど当たりますね。それに合わせていただければ理想的と思います。</p> <p>他にご意見ございませんか。</p> <p>突発的な事が色々ありました令和2年度ですが、上手に進めていただいて大きい流れは継続されていますので、期待の持てる計画だなと感じました。</p> <p>本日の議題の全てが終了しました。</p> <p>事務局へお返しします。</p>
事務局	<p>それでは次第3.その他につきまして、机上に配布しましたボランティア週間について担当からご説明させていただきます。</p> <p>(図書館ボランティア週間イベントの説明)</p> <p>これをもちまして、第3回図書館協議会を終了します。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">午後2時25分終了</p>